

## 1. 5次会婚利用規約

この利用規約は、株式会社メイション（以下、「乙」）が提供する「1. 5次会婚」提供サービスの利用に関して遵守すべき事項を定めたものであり、サービスの利用者（以下、「甲」）と乙との間で別途締結されたパーティー契約（以下、「本件契約」という）の内容を補完するものです。

### 第1条【1. 5次会婚】

1. 5次会婚とは、パーティー開催後に、ご列席者から頂いた会費を充当することにより、甲の負担をできる限り軽減することを目的としたサービスのことを言います。

### 第2条【契約の成立】

本件契約書に署名を頂くことにより、本件契約が成立します。本件契約が成立した日を契約締結日とします。

### 第3条【提供サービス】

1 乙が、甲に対して 提供するサービスは次のとおりです。尚、下記サービスには、オプション設定（別料金）されているものもあります。

- ① パーティーの企画、設営、運営及びそれに附随するサービスの提供。但し、参加者から頂戴する会費等の金品の受け取り及び管理は除きます。
- ② パーティー会場及びサービスを提供する事業者の紹介、手配。
- ③ パーティー関連商品の手配。
- ④ 上記に関わる決済業務。

2 乙は、甲に事前に所在・名称等を明らかにして、上記提供サービスの一部をパーティー会場、司会者その他のサービスを提供する事業者（これらを併せて以下、「サービス事業者」という）に委託することができます。

### 第4条【料金】

1 甲は、乙に対し、本件契約書で定めたとおり、料金をお支払い頂きます。

2 料金は原則として次に記載する金額の合計額となります。

- ① 会場ごとに設定した参加者1人の費用に参加人数（以下、「予約人数」という）を乗じた金額。  
但し、予約人数が会場ごとに乙が定めた最低基準人数を下回る場合はその最低基準人数が予約人数となります。

- ② 甲が希望したプラン料金、プロデュース料金、オプションサービスの料金。

### 第5条【予約人数の確定】

1 甲は、最終の打合せにて、確定した予約人数を乙に通知します。尚、最終の打合せはパーティー開催日の21日前までに行います。乙は通知を受けた後、会場に対して最終の開催確定通知（以下、「確定通知」という）を行います。

2 甲より前項の通知がない場合は、1. 5次会婚お客様情報（以下、「お客様情報」という）に記載した

出席者数を予約人数とみなします。

3 確定通知後の予約人数の変更は致しかねます。また、欠席者が出た場合でも料理やその他手配が完了しているものは、確定した人数分の料金を甲にお支払い頂きます。

4 パーティーの出席者が確定した予約人数より増えた場合は、増えた人数分の費用を甲に別途お支払い頂きます。

#### **第6条【申込金の延着及び不足】**

甲が申込金の支払期日を徒過している場合において、乙からの催促に応じる事なく甲から支払がない場合は、催促から1週間が経過した日に、甲から解約の申し入れがあったものとみなします。これに伴う甲及び甲の関係者に生じた損害については甲の負担とします。

#### **第7条【器物等の破損】**

甲及び甲の関係者が会場にある施設、什器備品等を紛失・破損・損傷した場合には、乙の指示に従い、甲にその修理もしくは損害の賠償を負担して頂きます。

#### **第8条【パーティーの中止】**

1 乙は、パーティーにおいて不法行為に該当するような加害行為やその他パーティーの開催、進行に支障をきたす危険・迷惑行為（以下、加害行為等）が甲及び甲の関係者について認められた場合は、やむを得ずその行為者に対して警告または退去を要請することがあります。さらにその要請に応じることなく、その加害行為等が収まらずパーティーの進行が困難であると乙が判断したときは、その旨甲に通知してパーティーの進行を中止することができるものとします。

2 前項の事態より生じた損害の補償及び賠償については、被害当事者と加害当事者の間において直接協議して解決するものとし、乙は被害当事者及び加害当事者に対しても一切の責任を負いません。

#### **第9条【完全履行とみなす場合】**

次の各号の一に該当する場合には、乙の義務は完全に履行されたものとみなし、甲は料金全額の支払義務を負い、減額請求等をすることはできません。

- ① 乙の責に帰すべき事由なく甲または甲の関係者が会場に来場せず、パーティーの開催ができずに終了時間を経過したとき。
- ② 乙の責に帰すべき事由なくパーティーの開始時間が遅延し、「進行表」に定められたサービス及び提供される飲食物の一部または全部が変更あるいは省略されたとき。
- ③ 前条第1項に定める加害行為等や甲が正当な理由なくサービスを拒否したことによりパーティーの開催、進行が不能となったとき。

#### **第10条【不可抗力】**

1 甲及び乙は、以下に定める不可抗力その他甲乙の責に帰すべからざる事由により、パーティーの安全かつ円滑な実施が不能となったときは、その責を負わないものとします。

- ① 自然災害
- ② 伝染病
- ③ 戦争及び内乱
- ④ 革命及び国家の分裂

- ⑤ 暴動
- ⑥ 火災及び爆発
- ⑦ 洪水
- ⑧ ストライキ及び労働争議
- ⑨ 官公署による命令
- ⑩ サービス事業者の事業縮小・廃止に伴う会場の閉鎖
- ⑪ その他前各号に準ずる非常事態

2 前項の事態が発生したときは、その被害に遭った当事者は、相手方に直ちにその発生の旨を通知し、甲乙協議の上、パーティー実施の可否を速やかに決定するものとします。

#### **第11条【中途解約】**

1 甲の解約の意思について乙が確認できたときに解約が成立します。但し、第6条の料金の未払いによるみなし解約の場合を同項で定めた日に解約が成立します。

2 乙は本件契約書に基づき、解約に要するキャンセル料の金額を甲に通知します。甲は、その通知を受けた日から7日以内に、乙に対してその通知したキャンセル料をお支払いするものとします。但し、支払方法は乙が本件契約で指定した口座に振り込む方法により行うものとし、お支払いに要する手数料は甲の負担とします。

3 甲がキャンセル料のお支払いをするまでは、乙の同意があった場合に限り解約の撤回をすることができます。但し、前項の支払期限を経過した場合はこの限りではありません。

4 キャンセル料が前項の支払期日までにお支払い頂けない場合は、支払期日翌日より支払済みまで、最終請求額に遅延損害金（年利14.6%として算出）を加算してご請求致します。

#### **第12条【オプションサービスの中途解約】**

1 甲は、利用申込みをしたオプションサービスを甲の都合で解約するときは、あらかじめ説明を受けた各サービス事業者が定めるキャンセル料を支払うものとします。

2 乙は、その解約に必要なキャンセル料の金額を甲に通知します。甲は、通知を受けた日から7日以内にキャンセル料を本件契約で指定した口座に振り込む方法により支払うものとします。尚、お支払いに要する手数料は甲の負担とします。

3 オプションサービスの解約の撤回はできません。キャンセルされたオプションサービスを再度利用する場合には新たな申込みが必要となります。

4 キャンセル料が第2項の支払期日までにお支払い頂けない場合は、支払期日翌日より支払済みまで、最終請求額に遅延損害金（年利14.6%として算出）を加算してご請求致します。

#### **第13条【契約の解除】**

1 甲は、乙に次の各号の一に該当する事由が生じたときは、乙に対して催告することなく本件契約及び乙と契約した、その他パーティーに関わるすべての契約を解除することができるものとします。

- ① 差押え、仮差押え、仮処分、租税滞納処分、その他公権力の処分を受け、または整理、会社更生手続及び民事再生手続の開始、破産もしくは競売を申し立てられる、または自らこれらの申し立てをしたとき。

- ② 営業の廃止または解散の決議をしたとき。
  - ③ 公租公課の滞納処分を受けたとき。
  - ④ 正当な理由なく、乙が契約書、利用規約及び進行表等に定められた債務を履行しないとき。
- 2 乙は、甲が次の各号に該当する場合は、甲に対して催告することなく本契約及びその他パーティーに関わる契約を解除することができるものとします。
- ① 契約書及びお客様情報の記載事項につき虚偽の記載等が認められる場合。
  - ② 事業者等による、乙の業務を調査することを目的とした契約であると認められる場合。
  - ③ 不法及び危険であると一般に認識されている団体が主催あるいは関与することが明らかとなり、乙のスタッフ及び関係事業者の安全が保証できないと乙が判断した場合。
  - ④ パーティーにおいて違法行為や危険行為（未成年者による飲酒、騒乱、過度なパフォーマンス等）を行う計画をしていることが明らかとなった場合。
  - ⑤ 正当な理由なく、甲が契約書及び利用規約に違反した場合。
  - ⑥ 乙と契約を締結する以前に、甲が乙以外の事業者とパーティーに関する契約を締結（予約を含む）していたことがあるにも関わらず、甲がその申告をせず、後日その事実が判明した場合。
  - ⑦ その他、乙が本契約の継続及びパーティー開催が適当でないと認めた場合。
- 3 前項の規定により本契約が解除された場合は、オプションサービスを含め乙と契約したその他パーティーに関わるすべての契約も同時に解除されるものとします。
- 4 乙が前2項の規定に基づき契約を解除したときは、本件契約第4条に定めるキャンセル料に相当する金額の違約金を甲に請求できるものとします。

#### **第14条【写真及び映像データの利用】**

乙が、甲のパーティー模様の写真及び映像の記録を乙のホームページ、パンフレット等の広告に利用したい場合は、甲に対してその利用の態様を示して甲の承諾を得るものとします。

#### **第15条【パーティー当日の延長料金】**

パーティー当日はいかなる場合もプログラム内容の変更、追加や終了時間の超過をすることはできません。万が一時間が超過した場合は、甲は時間超過により乙、会場、他の新郎新婦等に生じた損害を負担頂くものとします。

#### **第16条【損害賠償】**

乙は、乙もしくはサービス事業者がその責に帰すべき事由により債務の履行ができなかったことによる甲の損害について、不履行となったサービス料金相当額を損害賠償の上限として甲乙協議の上決定した金額を甲に対してお支払いします。但し、乙もしくはサービス事業者の故意又は重過失により債務の履行ができなかった場合は、この限りではありません。

#### **第17条【秘密保持】**

甲は、本契約により知り得た乙の秘密のうち乙が秘密である旨明示したものについて、営利・非営利、個人利用・法人利用、有償・無償等の別を問わず、利用すること、及び第三者へ提供することはできません。但し、本契約締結以前に既知となっていた事項については、この限りではありません。

#### **第18条【個人情報の取扱い】**

- 1 乙は、甲より提供を受けた個人情報を無断で第三者に漏洩することの無いよう厳重に管理します。
- 2 乙は、サービスの提供に必要な範囲の利用に限り、個人情報をサービス事業者に提供することがあります。

#### **第19条【権利放棄】**

- 1 乙が、相手方の特定の契約違反を許容し、その違反により発生する損害賠償請求権等の放棄をしても、その後の違反に対する権利を放棄するものではありません。
- 2 特定の条項の権利放棄を契約期限まで認める場合は、権利を持つ契約当事者が書面にて放棄する旨を承諾しなければならないものとします。

#### **第20条【準拠法】**

本件契約は日本法に準拠し、同法によって解釈されます。

#### **第21条【合意管轄】**

本件契約に関して訴訟を提起する必要がある場合は、乙の本店所在地を管轄する裁判所を管轄裁判所にするものとします。

#### **第22条【その他】**

本件契約及び本規約に定めのない事項について疑義を生じたときは、甲及び乙は信義に従い、誠実に協議解決するものとします。

制定 平成28年5月31日

改定 平成29年3月31日

改定 平成29年8月31日